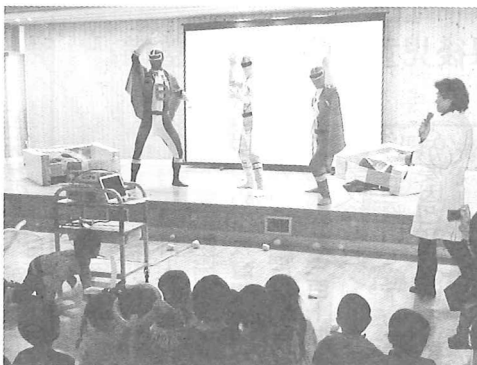


手洗い、うがい忘れずに

北大遺伝子病研究所が劇上演

白楊幼の園児70人が参加



「ぼっちいーマン」をやっつける!

札幌市立白楊幼稚園（池上由紀子園長）は二月二十四日、同園で北大附属遺伝子病制御研究所による「2

015からだをまもるんジャーのはなし」を実施した写真Ⅱ。同研究所の高岡晃教授や学生らが細菌や

ウィルスを退治する戦隊ヒーロー劇を上演。参加した園児たち約七十人は、シヨーを通し手洗いやうがいの大切さや免疫の仕組みを学んだ。

ウィルスやがんについて研究している北大附属遺伝子病制御研究所と公益財団法人秋山記念生命科学振興財団の協力で初めて実施。社会貢献活動の一環であり、児童たちに手洗い、うがいの大切さ、免疫の仕組みを知ってもらうことが目的。

当日、園児約七十人が参加した。高岡教授は、最近やウィルスを退治する免疫

戦隊「からだをまもるんジャー」の司令官役として登場。パワーポイントを使ってばい菌やウィルスの存在や、風邪に罹患する仕組みを分かりやすく説明した。

劇では、高岡教授ら研究所の関係者による「まもるんジャー」とウィルスや細菌などの悪役「ぼっちいーマン」の戦いを上演。園児たちも抗体を模したボールを悪役に投げつけて退治していた。

高岡教授は「希望があれば、ほかの幼稚園でも上演したい」と話していた。

高岡教授は園児たちに、食事と睡眠を十分に取ると、手洗い、うがいを毎日欠かさないよう呼びかけ、「みんなもまもるんジャーになってほしい」と話していた。

劇終了後、園児たちは顕微鏡を使って細菌やカビ、エキノコックスの原虫を観察。日常生活では分からないミクロの世界について学んだ。

園児たちは「ぼっちいーマン」をやっつける!